
《500文字小説》月の裏側

十司 紗奈

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

《500文字小説》月の裏側

【Nコード】

N7211X

【作者名】

十司 紗奈

【あらすじ】

マンシヨンの隣に住む、面倒見の良い幼馴染み。その彼女に意外な一面があった事を知る「僕」の物語。

日曜の朝、僕は隣家のインタ・ホンを押した。

「……何？」

迷惑顔の幼馴染に、僕はシャツを突きつけた。

「ボタンが取れた。すぐに縫ってよ」

「はあ？」

「早く！彼女待たせてるんだよ」

そう言つと、僕は勝手に上がり込む。ぶつぶつと文句を言いながらも、結局は頼みを聞いてくれる。彼女は小学生の時、母親と共にこのマンションに越して来た。以来、中・高とくされ縁だ。

「おはよう」

彼女の母親が起き抜けといった表情で現れた。奔放な女性で、今は一回りも若い、垣内という男と付き合っていた。

幼馴染から受け取ったシャツを着て、そのまま外出しようとした時、不意に呼び止められた。

「……これからは彼女にしてもらいなよ。こういう事」

その日、家に帰る途中で、駅に向かって歩いて行く幼馴染と垣内の姿を見かけた。よく三人で外食するので、疑問にも思わなかった。マンションに戻ると、ホールで彼女の母親と出くわした。娘を見なかったか、という問いに

「垣内さんと駅に向かって歩いてましたよ」

そう返すと、顔色を変えて外に飛び出して行った。

人が良くて面倒見の良い幼馴染。彼女に、母親の恋人を奪う一面があるなんて気づかなかった。

それきり彼女の姿を僕は見ていない。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7211x/>

《500文字小説》月の裏側

2011年10月19日02時12分発行